

CS・SDGsパートナーズ通信

SoftBank × 学研スタディエ × 株式会社100LDK の取組を紹介します

ソフトバンク株式会社様、株式会社学研スタディエ様及び株式会社100LDK様は、3社で連携し、自治体や学校を対象に、人間型ロボットPepperの貸与・運用管理サービスの提供を行う「Pepperふるさと教育支援」に取り組んでこられました。

今回は、その取組の一部をご紹介します。



次世代教育支援の取組

本市の小中学校において、プログラミング学習の出前講座を4年間にわたって実施していただきました。

この講座は、児童・生徒が自らプログラムを作成してPepperを動かす体験をすることで、児童・生徒の論理的思考力や問題解決力、想像力などを育成するものです。

4年間で延べ約11,500人の児童・生徒が受講し、本市教育委員会が推進する「さいたまSTEAMS（※）教育」の推進に大きく貢献していただきました。



（※）Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）、Sports（スポーツ）の頭文字

各種啓発イベントに対する支援の取組



大宮マルイ様におけるSDGsイベントをはじめ、健康デジタル講座、公民館におけるプログラミング・AI講座、認知症サポーター養成講座など、本市が主体となって実施した様々な啓発イベントにPepperを設置していただき、市民の理解促進につながる効果的な啓発にご協力をいただきました。



*Pepperはソフトバンクロボティクスの登録商標です。

*各講座はソフトバンクロボティクスのPepperを活用して、さいたま市・ソフトバンクが独自に実施しています。

各企業様の担当者の方からひとこと

【ソフトバンク株式会社様】

▶ 地域との連携を大切に引き続き活動をし、サステイナブルをキーにチャレンジします。

【株式会社学研スタディエ様】

▶ 今後も官民連携、企業連携の力を活用し、教育というテーマで地域の方々との接点を作っていきます。

【株式会社100LDK様】

▶ 社会的に意義のある取組に関わることができ、大変ありがたく思います。今後も地域活性・教育テーマでの取組を模索してまいります。